# 「Sarashina」無償ベータ版の知財業務活用ガイド

国産生成AI「Sarashina」無償ベータ版は、日本語処理や検索補助機能に強みを持つ一方、非推論モデルであることや学習に利用されるリスクが存在。知財業務への適用は「公開情報の検索・要約」に絞り、法的判断や未公開情報の入力は避ける運用が求められます。

## データセキュリティと運用の注意点

### 未公開の発明情報や営業秘密は入力不可

無償版の入力データは品質改善や学習に利用されるリスクがあります。

### 本番運用は国産・法人向け環境で評価

機密保持が必要な業務は、データ主権が担保された環境へ移行すべきです。



## 知財業務別の活用適性評価

### 公開情報の「検索・分類・要約」に高い適性

embeddingやnanoモデルによる公開特許の一次処理・RAG構築が有効です。

### 推論・法的判断を伴う業務には不適

非推論モデルのため、ハルシネーションや架空文献の提示リスクが存在します。

知財業務における主なタスクごとのSarashina活用適性と留意点

| 業務領域 | 有用度 | 主な活用方法と留意点 |
|---|---|---|
| 先行技術調査・特許分析 | ◎（高い） | embedding/rerankによる検索と、nanoでの大量公報の分類 |
| 公開文献の翻訳・要約 | ○（条件付き） | translateモデルでの下訳。意訳傾向があるため原文確認が必須 |
| クレーム解析・FTO・中間処理 | △（補助的） | 非雑談モデルのため法的解釈や論理構築は不可。人間が確認 |

Gemini Notebook